



## 図書を活用した学習活動を！

読書に親しむ第一歩は、読書の楽しみを知り、文字を読むことに慣れることです。就学前それぞれの家庭での読み聞かせはもちろんのこと、学校で一斉に行う読書の時間は、文字を読むことに慣れるという点で大きな成果をあげていることと思います。

その次の段階として、子どもたちと本との出会いの場をつくることにより、読書の幅を広げ、読書の内容と質を高めていくことが大切です。本との出会いの場をつくることは、子どもたちが読む本の内容に変化をもたらします。もちろん娯楽としての読書は一生続きますが、身の回りのこと・社会のこと・自然のことなどを深く考えられるような読書もできるようになることも大切です。

学校では読書指導として、意図的で計画的に本との出会いの場をつくります。

小・中学校学習指導要領では、

- (小) 1, 2学年 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。
- (小) 3, 4学年 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くこと。
- (小) 5, 6学年 日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くこと。
- (中) 1 学年 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解すること。
- (中) 2 学年 本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり、深めたりする読書に生かすこと。
- (中) 3 学年 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解すること。

とあり、これに基づいて読書指導を行います。学校での読書指導は、個人の自由な読書活動の充実に役立っていきます。また、図書を活用した学習活動を行うことで、自分の考えに広げたり深めたりすることができます。



絵本をきっかけに選挙や投票について考えてみよう

6年生 道徳・社会

○ ねらい

絵本の中にある課題を自分で見つけ、解決策を考える中で、「委員を決める」という方法を選択することを通して、選挙や投票することの良さについて考えることができる。

○ 授業の流れ(全2時間)

1. 学級で困ったことを思い出す。

2. 絵本「こどものとうひょうおとなのせんきょ」(P21 まで)を読み問題点を考え、解決策を話し合う。

○ 教師による読み聞かせを行う。

3. 絵本「こどものとうひょうおとなのせんきょ」(P21～29)を読み、委員を決めることの良さを知る。

4. 絵本「こどものとうひょうおとなのせんきょ」(P30～最後)を読み、自分たちの願いを届ける方法を考える。

○ 図書館で「選挙」「投票」をテーマにした本を読む。※下記参照

5. 家庭学習や社会科学習等と関連させ、意見文や新聞を書く。

※使用する図書「こどものとうひょうおとなのせんきょ」 かこさとし/著  
(復刊ドットコムから発行)

「図書を活用した楽しい学習活動」学事」出版 参照

※「選挙」「投票」をテーマにした本の例

「よくわかる選挙と政治」 福岡雅之 監修 株式会社 PHP 研究所

「池上彰さんと学ぶ 12歳からの政治」 池上 彰 監修 株式会社学研プラス

「あした選挙へ行くまえに」 池上 彰 著 株式会社河出書房新社

絵本「こどものとうひょうおとなのせんきょ」のあとがきで著者である かこさとしさんは、「この本は、少数でもすぐれた考えや案を、狭い利害や自己中心になりやすい多数派が学び反省する、最も大切な「民主主義の神髄」をとりもどしたいという願いで書いたものです。…」と、書かれています。

絵本で読みやすく、それでいてなるほど、と考えさせてくれる内容です。



## Hello! 学校図書館 小呂小中学校

今月は西区小呂島にある児童生徒数10人の小呂小中学校です。

学校図書館支援センターでは毎学期小呂小中学校を訪問し、子どもたちの読書活動推進のための支援を行っています。校長先生から、「島には図書館がありませんが、先生たちが読み聞かせをよくやっています。」と、お聞きしました。また、図書館がないため、廊下に本が配架されていますが、昨年度から先生方が子どもたちにより読書しやすいようにと、職員作業で書架整理と配架の工夫をされたところ、読書量アップに繋がったとのことです。

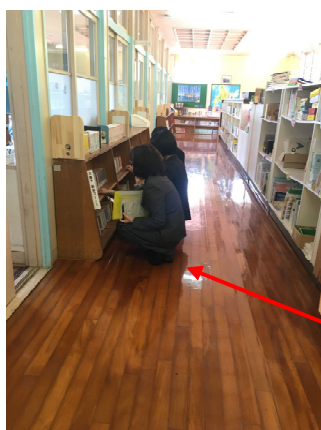
訪問した日は、小呂小中学校合同で「読書探検」の授業があり、その後、支援センターの司書さんの読み聞かせとポップ作りの授業を行いました。どの授業も子どもたちの目が輝き、生き生きとしていました。

### 廊下に本を配架する工夫 小学校



1階廊下は、小学生向けの本が配架されていました。おすすめの本、新しい本、絵本、調べ学習に使う本など、各コーナーが作られていて、子どもたちが本を手に取りやすい配架がされていました。さまざまなコーナーを作ったことで、子どもたちが本を借りやすくなったとのことでした。廊下が図書館という良さを生かされていますね。

## 廊下に本を配架する工夫 中学校



「本をまっすぐ立てる」「本をまっすぐそろえて置く」など、「まっすぐ」を徹底するとそれだけで書架がきれいに見えます。また、本を書架の奥に押し込まず手前に揃えて置くと書名やラベルが見えやすくなります。配架は、子どもたちが本を借りやすいように「日本十進分類法」に基づいて分類されていました。

「読書探検」の授業の中で、子どもたちと先生が楽しそうに本を探しているのが、印象的でした。

毎学期、学校図書館支援センターから訪問し、司書さんが本の整理、購入、廃棄等の支援、さらに本の読み聞かせなど授業のゲストティーチャーをしています。

## 本の帯を使った5月の掲示・展示

蒸し暑い季節になりました。さわやかな色の帯であじさいやあさがおの花を作ってみました。書架の横に小さな花や帽子の掲示物を置くことで、子どもたちが気持ちよく本を手にとってくれそうです。



あじさいの芯は、ティッシュを丸め、それに花びらを貼ると立体的なあじさいになります。

あさがおは、お菓子の空き箱にひもを張ってその上に貼ってみました。葉っぱには、夏におすすめの本を紹介しています。



## 7月の人とももの

### 7.1 国民安全の日

生活環境の安全、災害の防止を図る目的で7月1日を「国民安全の日」とし、7日まで「全国安全週間」としました。第1回の全国安全週間のスローガンは「一致協力して怪我や病気を追拂ひませう」でした。

### 7.7 七夕

織姫と彦星が一年に一度だけ七夕の夜に天の川で会うことができるという伝説で知られ、笹飾りに願い事を書いた短冊をつるします。もともとは奈良時代に中国から入ってきた裁縫の上達を願う「きっこうでん」という風習です。

### 7.21 自然公園の日

自然公園を守り親んでもらおうと制定されました。国立公園・国定公園・都道府県立公園を自然公園と言います。この日を始まりとした「自然に親しむ運動期間」や「森と湖に親しむ週間」があります。

### 7.23 ふみの日

1979年に郵政省(当時)が「ふ(2)み(3)」と語呂合わせをして、もっと手紙を書いてもらおうと制定しました。また7月は文月(ふみつき・ふづき)と呼ばれ「文月ふみの日」といわれています。

新見 南吉 (1913.7.30~1943.3.22)

中学時代から創作を始め、弱冠18歳で「ごんぎつね」を世に出しました。病に苦しみ、作家としての成功を前に29歳で世を去りますが、その短い生涯を通して、数多くの童話、小説、詩、童謡、戯曲などを創作しています。

江戸川 乱歩 (1894.10.21~1965.7.28)

エドガー・アラン・ポーをもじったペンネーム。暗号トリックを使った短編小説「二銭銅貨」でデビュー。少年雑誌連載「怪人二十面相」シリーズなど大人気となりました。推理小説の発展と新人作家育成のため江戸川乱歩賞があります。

【あとがき】もうすぐ7月です。この時期は梅雨や、熱中症の予防等で外で遊べない日が続きます。こんな時、図書館や教室で読書ができたら良いですね。自分で読み進めていくことが苦手な子どもたちには、読み聞かせをするのも良いでしょう。図書館が密になる時は、学級文庫に図書館の本を貸し出して、それぞれの学級で読むことをお勧めします。身近に本を置くことで、子どもたちは気軽に本に触れることができます。コロナ禍をきっかけに、学級文庫を充実させたいという学校が増えています。

(足立)



今日は雨の季節におすすめの絵本をご紹介します。

『あめのひ きのこは……』

ステーエフ／原作 ミラ＝ギンズバーグ／再話 ホセ＝アルエーゴ／絵 エーリアン＝デューイ／絵  
くりやがわ けいこ／訳 偕成社 1976年 ¥1400(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児★★★ 小低学年★★★ 小中学年☆☆☆ 小高学年☆☆☆ 中学生☆☆☆  
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

急に雨が降ってきて、ありがきのこの下で雨宿り。するとそこにちょうちょうがやってきて、もぐりこみます。それからねずみ、すずめ、うさぎと次々にやってきて、きのこの下に入り込んでしまいます。最初はありが入るのもやっとだったきのこの、どうして全員入れたの？ それはね…

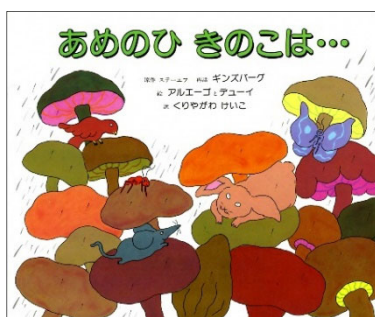
動物たちがきのこの下にもぐりこんでいく様子がユーモラスな、カラフルでとても楽しい絵本です。

<子どもに手渡す時のポイント>

絵をじっくりと見ていくだけでも十分楽しめますし、少し文章量が多いですが、字も大きくすべてふりがなで書かれているので、ひとり読みにもおすすめです。はっきりした色使いで遠目もきくので、読み聞かせにも向いています。

ユニークなタッチの絵が気に入ったら、ぜひこの画家の他の絵本も読んでみてください。光村教育図書の2年生の国語の教科書でも紹介されている『ラン パン パン』や『すえっこおおかみ』『カメレオンはどこ？』など、たくさんの絵本を手がけています。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。



発行：福岡市教育委員会

総合図書館 図書サービス課

電話：092-852-0639

FAX：092-852-0801